

跳馬で優勝したい 荒井夏菜さん（じゅうななみ）



昨年8月横浜市で開催された、2005全日本ジュニア体操競技選手権大会女子2部跳馬の部で3位に入賞した、荒井夏菜さんに話を聞きました。

体操を始めたきっかけを尋ねると「小さい頃、前回りをして、逆立ちをしながらテレビを見ていたら、お母さんが体操をやってみたら。」という一言で始めたそうです。小学校一年生の時に体操を始め、二年生からは大会に出場していたとのこと。現在は上三川中学校三年生で、授業が終わると宇都宮市の体操クラブに毎日通っています。

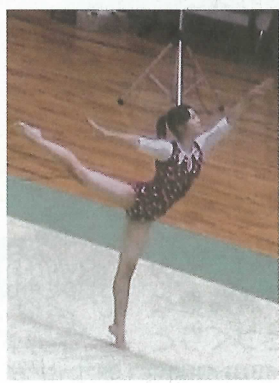
平日は午後5時から9時まで、学校が休みの日は、午前10時から午後6時まで練習に励んでいます。得意種目について尋ねると「跳馬が好きですね。一発勝負ですから。」と笑顔で答えてくれました。苦手種目につ

今月の輝ける星

いては、平均台で、幅が10cmなので演技を行うのに非常に難しいとのことでした。

しかし、練習で苦手な種目を克服し、県内の主要大会を制し全国大会に出場しましたが、県内の大会とは違い全国大会では「ものすごく緊張しました。」と雰囲気の違いに戸惑いながらも、得意の跳馬で3位に入賞しました。「私は、体力がないので、平均台や床など組み立てる競技は、終盤にスタミナが切れてしまうんですよね。練習で克服するしかないんですけど。」と課題点も見えています。

今後の目標について尋ねると、「高校に進学しても競技を続けていきたいです。今度は、団体種目が入るのでみんなでインターハイを目指したいと思います。そして、跳馬で個人優勝を狙いたいです。」と力強く語ってくれました。



かわのかわ

広報かわのかわ2月号 上三川町役場 企画課広報統計係

T 029-0696 栃木県河内郡上三川町しやの 1丁目1番地 0296-0911-7

今月の農産物は餃子の具などでおなじみのニラです。

JA うつのみやニラ専門部会支部長の小島一明さん（川中子3区）に、話を伺いました。

現在町では、147人がニラ部会に所属しています。ニラは通年作物で、現在は最盛期を迎えています。

今年は、日本海側を中心とした大雪の影響で価格が高騰していますが、町の生産は順調のようです。しかし、寒さの影響で例年ですとビニールハウス栽培では、種を蒔いてから24日程度で出荷していましたが、30日程かかってしまうそうです。また、ビニールハウスも通常は2重のところを3重にして管理しているとのこと。

小島さんのお宅では、現在30a作付をしており、奥さんと二人で生産をしています。生産の仕方について尋ねると、「軽量作物で、手入れが非常に楽なので、高齢にな



わが町の農産物



ニラ編

っても作付けできる作物ですね。温度管理に気を使う程度で、病気も少ないですよ。」と笑顔で話してくれました。

ニラは独特な臭いがありますが、食欲増進、エネルギー代謝に必要なビタミンの吸収促進などの働きがあるスタミナ食品です。整腸効果は抜群で下痢に良く効き、常食すれば慢性の下痢を治すこともできます。胃がもたれたり食欲がないときにも効果的とのこと。小島さんは「卵とじや野菜炒め、餃子などで食べますね。宇都宮市内の有名な餃子屋さんのニラは、上三川産なんですよ。」と意外なところで活躍する上三川産ニラについて話してくれました。

県内では、トップクラスの生産量を誇っているニラですが、小島さんは「生産農家の高齢化の問題はありますが、現在の状況を維持しながら市場として（ニラの生産）量を増やしていくことですね。」と意気込みを語ってくれました。

